

2018年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	自立に向けた清潔保持の介護		教員氏名	佐藤 美紀
学年	専攻科		開講学期	後期
授業形態	演習		単位数	1単位
必修・選択	専攻科			
テーマ	入浴・清潔保持の介護,安眠のための介護技術を習得する			
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。			○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。			○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。			○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教の精神を踏まえて、人々の権利を護り共に生きる人としての価値観を再構築する		
	科目群Ⅱ 原理	多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕を実践する人間観を養う		
	科目群Ⅲ 知識・技能	高齢者と高齢者を取り巻く環境を知り、様々な介護の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける		○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ価値観・知識・技能を現場に即して実践し、共に成長する体験を積みながらキャリア形成の基礎を培う		○
授業の概要	高齢者の気持ちになれるように多くの技術を体験、習得を目指します。また、それらの体験を通して、その介助がどのような根拠にあるのかを学んでいきます。国家試験を見据えた小テストを実施します。			
授業の到達目標	①自立に向けた入浴・清潔保持・安眠のアセスメントや意義・技術を習得することができる ②自立に向けた着脱介助の技術を習得できる ③褥法の意義や技法を習得することができる			
テキスト	『生活支援技術Ⅱ』中央法規			
参考書	『介護福祉士国家試験 受験ワークブック2018 下』中央法規			
	授業中にプリントを配布する			
ポートフォリオ	ワーク7. 8. 9「介護に関する漢字」			
課題の確認と成績評価方法	授業の取組み(5%) 小テスト(15%) 実技試験(80%)			

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	自立に向けた着脱介助の意義と目的・パジャマへの介助(一部介助・片麻痺介助)
	授業外指示	〈復習〉片麻痺の方のパジャマの介助の手順を復習する
第2回	テーマ 内容	パジャマへの介助(全介助)靴下の介助
	授業外指示	〈予習〉教科書にて清潔保持の介助に目を通す 〈復習〉パジャマの介助の手順を復習する
第3回	テーマ 内容	浴衣の介助
	授業外指示	〈予習〉教科書にて介助の方法に目を通す 〈復習〉浴衣介助の留意点を復習する
第4回	テーマ 内容	自立に向けた入浴の介助の意義と目的・足浴の介助
	授業外指示	〈予習〉教科書の入浴介助を行うにあたってに目を通す 〈復習〉手浴・足浴の意義を復習する
第5回	テーマ 内容	入浴の介助方法・ストレッチャー浴の体験
	授業外指示	〈予習〉教科書にて入浴の技術に目を通す 〈復習〉ストレッチャー浴の介助の仕方・入浴中の事故防止の留意点を復習する
第6回	テーマ 内容	洗体の技術と家庭浴槽への介助
	授業外指示	〈予習〉教科書にて家庭浴槽への介助に目を通す 〈復習〉片麻痺の方の家庭浴の技術を復習する
第7回	テーマ 内容	清拭の意義と目的・清拭の方法(全身清拭)
	授業外指示	〈予習〉教科書にて清潔保持の介助に目を通す 〈復習〉全身清拭の目的を復習する
第8回	テーマ 内容	ベッドでの洗髪の介助
	授業外指示	〈予習〉教科書にて介助の方法に目を通す
第9回	テーマ 内容	身支度の介助(爪・顔・耳の清潔)
	授業外指示	〈予習〉教科書にて介助の方法に目を通す 〈復習〉医療行為と関連した技術を復習する

第10回	テーマ 内容	実技試験(浴衣の介助)
	授業外指示	〈予習〉実技試験に向けて練習を行う
第11回	テーマ 内容	睡眠・安眠の意義と目的
	授業外指示	〈予習〉高齢者の睡眠のリズムを考える 〈復習〉睡眠・安眠介助の目的を復習する
第12回	テーマ 内容	安眠のための体位変換の意義
	授業外指示	〈予習〉教科書の安楽な体位を保持する介助に目を通す 〈復習〉安眠のための体位を復習する
第13回	テーマ 内容	褌法の意義(湯たんぼ・氷枕の作り方)
	授業外指示	〈予習〉褌法とは何かを知る 〈復習〉褌法の目的と技法の留意点を復習する
第14回	テーマ 内容	安楽な姿勢・足のマッサージ
	授業外指示	〈予習〉教科書にて技術に目を通す 〈復習〉仰臥位・側臥位・ギャッジアップに必要な枕の位置を復習する
第15回	テーマ 内容	まとめ
	授業外指示	〈予習・復習〉これまでの学習内容をプリントにまとめる